

		小児聴覚障害		2・前	30	2														
		成人聴覚障害	成人聴覚障害指導法、成人聴力検査について実習を含めながら学ぶ。	1・後	30	2														
		成人聴覚障害		1・後	30	2														
		成人聴覚障害		2・前	15	1														
		補聴器・人工内耳		2・前	30	2														
		視覚・聴覚二重障害	視覚・聴覚二重障害の種類と特性、視覚・聴覚二重障害の評価と訓練等について学ぶ。	2・前	15	1														
		臨床実習	言語聴覚士の指導の下に、評価・指導・訓練等、現場での言語聴覚療法を学ぶ。	1・後	40	1														
		臨床実習		2・後	320	8														
		臨床実習		2・後	160	4														
		レクリエーション活動援助法	レクリエーション活動を通してレクリエーションの意義・役割を理解し、特にレクリエーションワーカーとしての実技を習得する(レクリエーションインストラクター資格取得可)。	1・前	30	1														
		レクリエーション活動援助法		1・後	30	1														
		レクリエーション活動援助法		2・前	30	1														
合計				65科目				2395単位時間 (135 単位)												

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
各科目授業時間数の3分の2以上の出席をもって科目試験を受けることができます。各学期に科目ごとに試験を行う。なお臨床実習においては、時間数の5分の4以上の出席および実習修了時に実習担当者による学修成果の評価を踏まえ成績評価を行う。すべて単位認定を経て卒業要件とする。		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	22週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について を付し、その他の方法について を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について を付すこと。

